

# 第20回アジア感染症対策会議 (CCIDA)

## 台北市におけるデング熱の流行： 危機管理と行動戦略

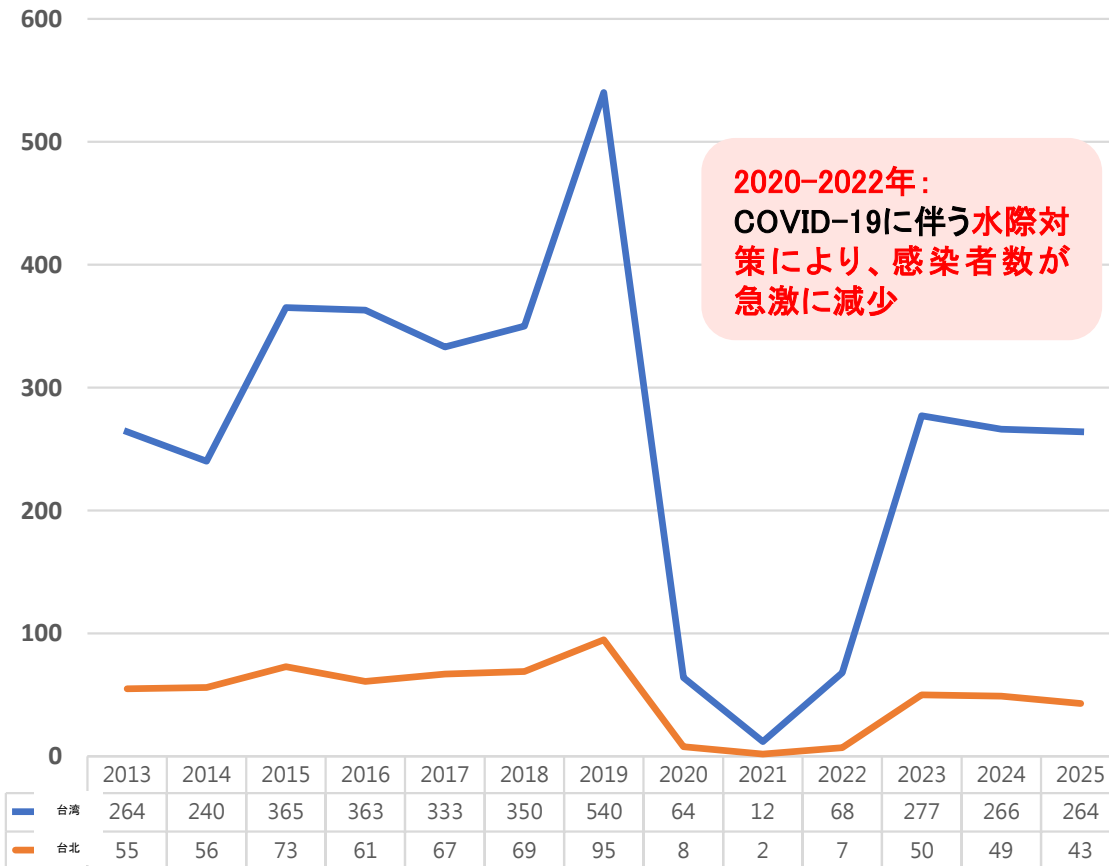


台北市衛生局



# 台湾および台北市におけるデング熱: 輸入症例の傾向

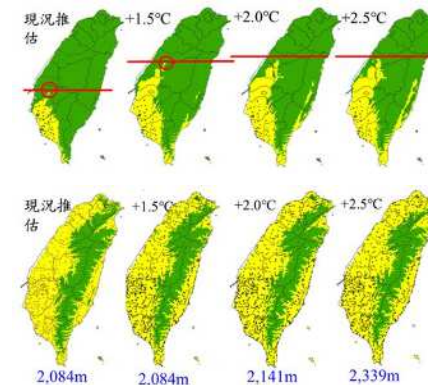
確定症例数



2020-2022年:  
COVID-19に伴う水際対策により、感染者数が急激に減少

## 台湾と台北市はデング熱の脅威に直面

1. 気候変動による温暖化により、媒介蚊の生息範囲が拡大している。
2. 頻繁な海外との往来はウイルスの感染拡大を加速させる。
3. 台湾は、その地理的条件、海外との往来、近隣諸国での流行により、デング熱が持ち込まれるリスクが長期的に高いままである。

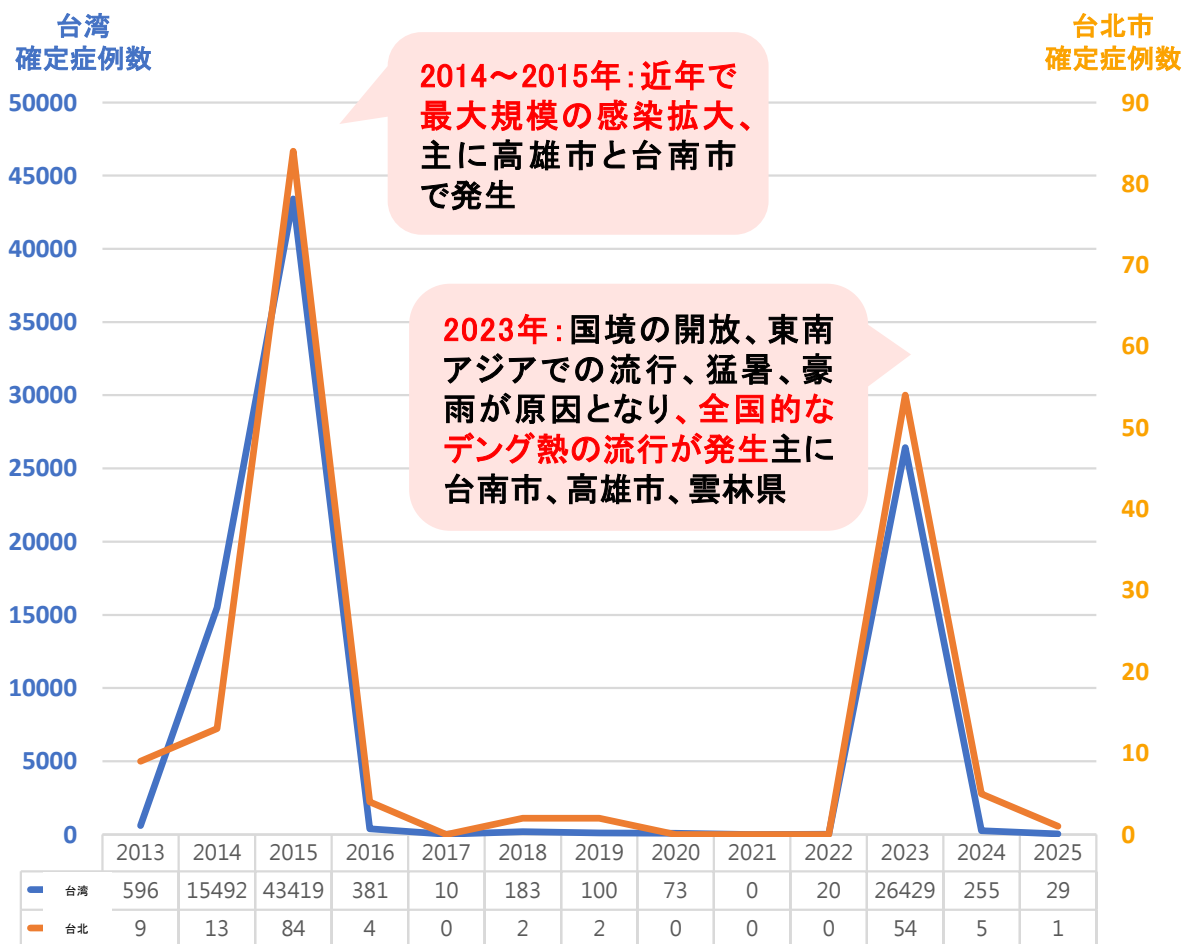


ネッタインマカの潜在的分布  
黄色: 潜在的分布

ヒトスジシマカの潜在的分布  
黄色: 潜在的分布

出典: 台湾 衛生福利部疾病管制署

# 台湾および台北市におけるデング熱：国内の発生動向



## 都市化がもたらす複数の課題

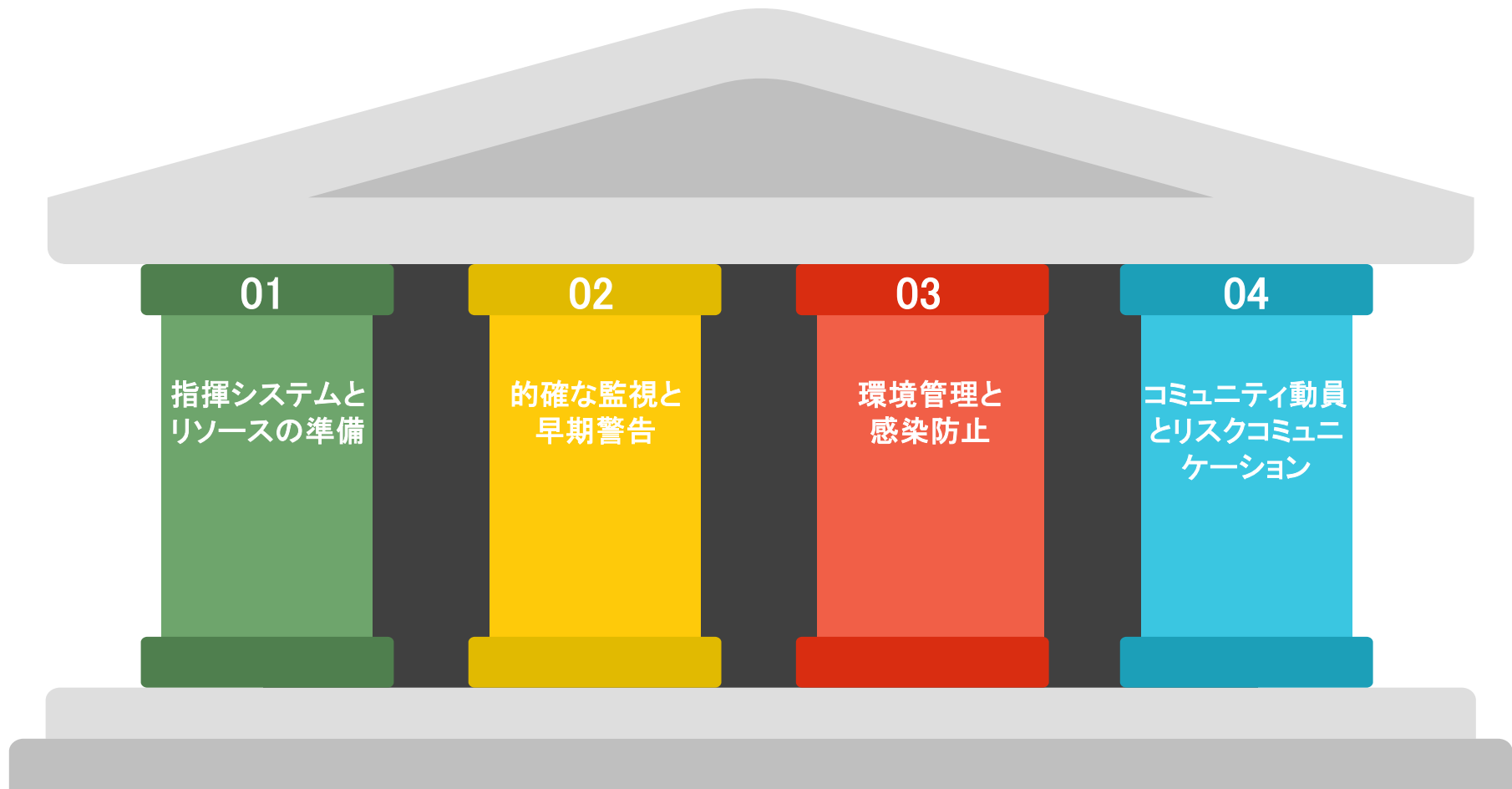
1. 台湾における国内での流行は主に輸入症例を起点としており、ウイルス株は毎年東南アジアで流行しているものと一致している。
2. 台北市は人口密度が高く、丘陵地帯や一部山岳地帯を含む地形で、水はけが悪く、緑地が混在しているため、都市部と準自然地域の両方で媒介生物の対策が困難になっている。

★台北市の確定輸入症例数は台湾6大都市の中で最多のまま推移している★



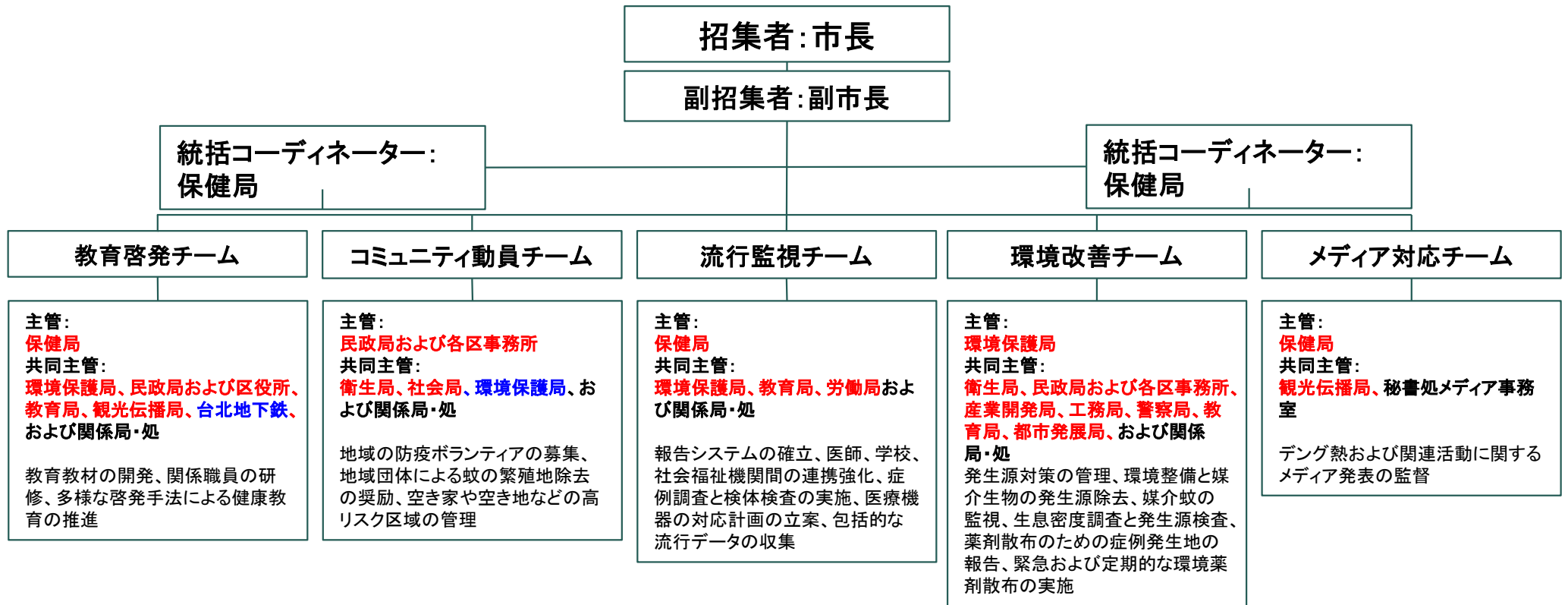
出典: 台湾 衛生福利部疾病管制署

# デング熱に対する台北市の4つの行動戦略



# 行動戦略1: 指揮システムとリソースの準備

## 台北市のデング熱予防: 構造と役割分担



## 行動戦略1: 指揮システムとリソースの準備

### 台北市 区レベル対策本部

- 対策本部の設置: 中央政府が台北市におけるデング熱の新規国内感染例を確認した場合、感染者が発生した区に区レベルの対策本部を設置し、資源を調整するとともに、地域住民の動員を図り、感染拡大の予防と封じ込めに当たる。

#### ■ 構成:

本部長	区長
副本部長	区健康サービスセンター所長
構成員	区事務所、区健康サービスセンター、清掃隊、警察署、里事務所、戸籍事務所、地政事務所、動物保護処、公園路灯管理処など。構成員は必要に応じて調整可能（例：清掃および薬剤散布の対象区域に市場や学校が含まれる場合、市場処や教育局に参加を要請）。

- 会議の頻度と解散: 会議は感染拡大の状況に応じて開催される。当該行政区において、最後に確認されたデング熱の国内感染例の発症日から31日間、新たな国内感染例の報告がない場合、対策本部は解散となる。

## 行動戦略1: 指揮システムとリソースの準備

### 台北市 区横断支援チームの編成

- 区健康サービスセンターの対応能力を超えた場合、区横断支援チームを始動させ、防疫活動を支援することができる。

チーム	第1サポートセンター	第2サポートセンター	第3サポートセンター	第4サポートセンター
1	松山、南港、内湖	信義、大安、中正	士林、北投、大同	文山、中山、万華
2	信義、大安、中正	士林、北投、大同	文山、中山、万華	松山、南港、内湖
3	士林、北投、大同	文山、中山、万華	松山、南港、内湖	信義、大安、中正
4	文山、中山、万華	松山、南港、内湖	信義、大安、中正	士林、北投、大同

## 行動戦略1: 指揮システムとリソースの準備

### デング熱予防・防除物資の在庫

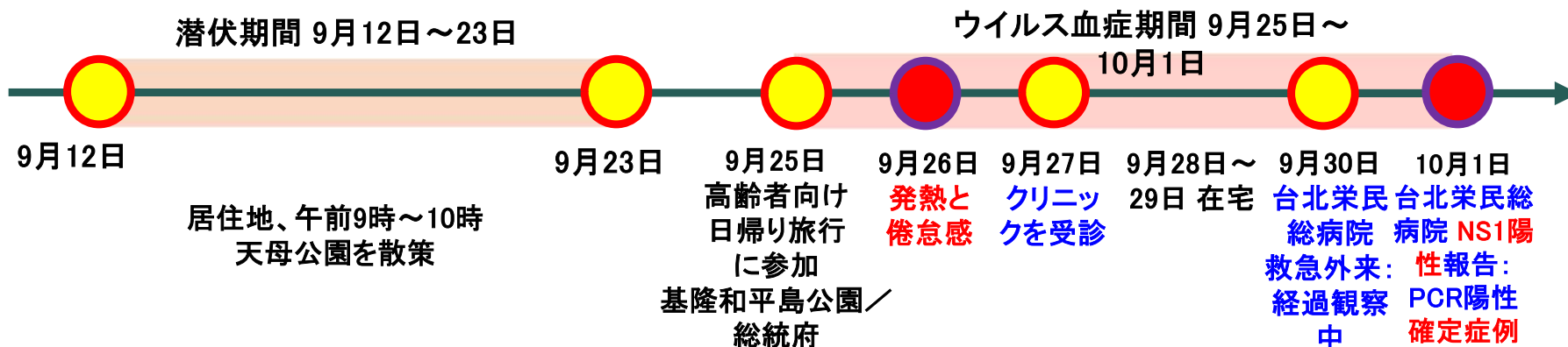
品目	NS1迅速検査	バチルス・チューリ ンゲンシス(Bt) (顆粒)	Entolarva (ピリプロキシフェ ン)	殺虫剤スプレー缶	蚊忌避剤
量	75	17.1	53	4,601	5,037
単位	キット	Kg	Kg	缶	ボトル

注: 2026年1月23日現在



# 2025年 士林区デング熱症例： 分析と予防策

## 活動履歴 と発症ま での経緯



## 症例 データ

行政区：士林  
年齢/性別：82歳男性  
職業：無職(退職)  
病歴：高血圧  
接触者：同居人2名(症状なし)  
同じ旅行グループ：109人

ウイルス血症の期間  
中  
(2時間以上の活動歴)

## 監視と予防

9月25日から10月1日  
2時間以上の場所：  
自宅と天母公園(士林区)  
10月1日 疫学調査、接触者追跡、蚊繁殖地の除去、地区  
レベルの対策センター設置  
10月2日 薬剤の初回散布、接触者追跡、蚊繁殖地の除去  
10月2日 地域での接触者追跡と蚊繁殖地除去の拡大  
監視終了：10月27日(発症日+31日)

# 行動戦略2: 正確な監視と早期警告

## 症例監視体制の構築

台北市は、**医療機関**からの報告、**学校**からの感染症報告、ホテルからの報告、一般市民からの自主的な報告、**地域薬局**からの報告、**移民労働者および雇用主**からの報告、国立衛生研究所との協力による地域の蚊媒介性ウイルスのモニタリングを通じて、デング熱の監視を実施している。

## 疑い症例の リアルタイム監視



- 報告
- 疫学調査
- 健康教育の推進

### 感染症報告システム



### 学校感染症報告システム



## 行動戦略3: 環境管理と感染拡大防止

### 予防 - 環境衛生管理

- 台北市の各局・各区は、所管部署による発生源の除去作業を監督する。
- **空き家・空き地、学校キャンパス、農園・庭園、公園、河川敷公園**の管理
- 健康教育の多様化と広報チャネルの拡大により、地域社会、医療機関、各級学校におけるデング熱予防への意識向上を図る。
- 各保健センターは、過去の流行状況に基づき、**管轄地域において毎月の定期点検**を実施している。



### 確定症例 - 感染拡大阻止のための迅速な対応

48時間  
以内

- **接触者追跡と発生源除去の徹底**
- 環境保護局は**確定症例の通知を受け、周辺地域の薬剤散布**を支援する

# 行動戦略4: 地域連携と リスクコミュニケーション

## 地域連携

- **防疫作業チーム**: 台北市の12の各区に1チームを設置。2025年には333人の地域ボランティアを動員し、予防体制を着実に強化。
- **地域清掃デー**: 台北市の12区役所が、里長・隣長、ボランティア、各区の清掃隊と協力して清掃デーを企画・実施。また、保健センターと連携し、高リスク地点の合同点検を行うことで、環境衛生の維持管理を強化。



## リスクコミュニケーション

- **広報活動**: 市政府のLINE公式アカウント、「Humans of Taipei」Facebookページ、台北放送局の番組、プレスリリースなど、多様なチャネルを通じて情報発信を実施。

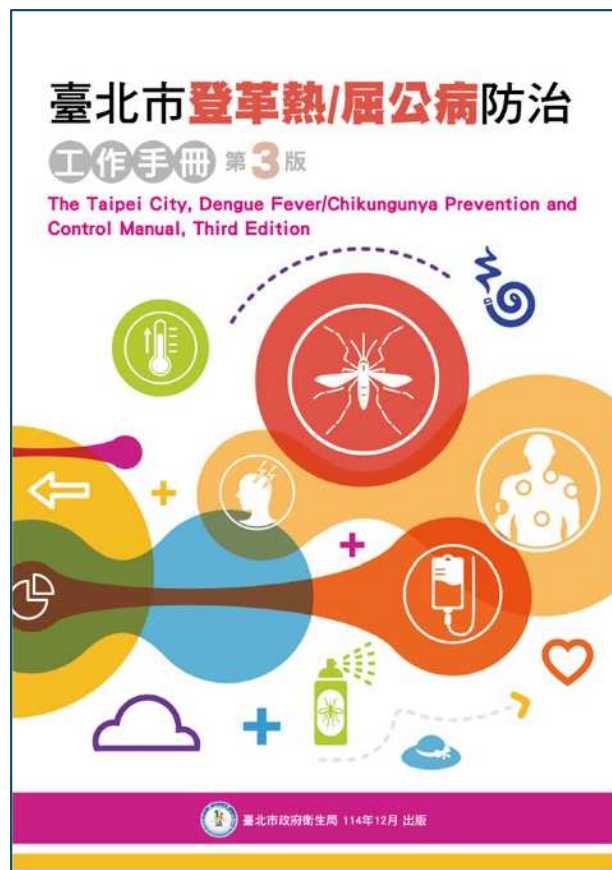


- **医療機関**: TOCC(渡航歴、職業、接触歴、クラスター)の問診を徹底し、症状への認識を深め、NS1迅速抗原検査を診断補助に活用する。



## 2026年の台北独自の取り組み

# 予防・防除マニュアルを更新し、高リスク地域の体系的な検査を実施する



### 12の地区保健サービスセンター

#### 体系的な検査

農場、庭園、学校(各レベル)、市場、山間部、空き家、空き地など、すべての高リスク地域で**少なくとも1回の蚊の生息密度調査**を実施する。

### 衛生局

有効性評価を実施  
すべての地域における接触追跡の実行を監督する

川沿いの公園、リスクの高い菜園、学校(全レベル)、確定症例の住居または活動場所について、検査と総合的な評価を完了する。





# 悪循環を断ち切る： 繁殖地ゼロ、蚊ゼロ、デング熱ゼロ



ご清聴ありがとうございました！  
ご質問はありますか？